

青森からお届けします！



特別栽培現地確認を行いました。
毎年、青森県の特別栽培担当職員さん
が来て、園地や🍏りんごの生育状況を
細かくチェックしています。
減農薬（農薬5割以下、化学肥料不使用）
での栽培が適正に行われている事を確認し
認証を得ています。
いよいよ令和6年産りんごの収穫もスタートします
今年は春から天候に恵まれて、りんごは元気に育って
います。夏りんご（恋空）からお届けいたします。

大きく実ってきた恋空

夏に収穫できる貴重なりんご、恋空が
こんなにも色付き大きくなってくれました！
ざっと野球ボールくらいはあります。

暑い夏にぴったりのこの甘酸っぱい
味わいは初恋の味♡のようです！

春まではそこまで大差の
ない品種の違いですが、
園地の中でもいち早く
赤く色づいてきました。
どれよりも早く
「食べごろのりんご！」
と教えてくれています！



工藤

りんごの「日焼け」対策



8月になると今年の極早生りんごの収穫がはじまります。
この暑い時期に収穫されるりんごは強い日差しを
浴びてりんごが日焼けしてしまう問題があり、
毎年の課題でした(;△;)

収穫まで大事に育ててきたりんごたちを日焼けから
守るべく、今年新たな試みを始めました！

日光が当たる所のりんごに日焼け防止専用の袋や
筒状の布を被せました。これで陽の光を和らげたり
温度上昇を抑えられることが期待できます☆

ひと手間掛かったとしても、
りんごたちにケガ（日焼け）
なく、収穫出来きると
とても嬉しいです！
これからもいろいろやって
いきたいと思います。

久米



稲わらマルチング

今年は土の保水力を高めるために稲わらでマルチングしました。稲わらを敷くことによって乾燥や、
地温上昇を緩和してくれるのを期待しています。5・6月はりんごが大きく成長するためにたくさん
の雨水が必要となります。7、8月には気温が
上がるので水分の蒸発を防いでくれます。

自然の由来の稲わらなので徐々に分解し
有機物として土壌に還元されます。
いろいろなことを試行錯誤しながら
りんごを守っていきたいです。 對馬



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64
TEL : 0172-49-7890
FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com
ホームページ : <http://ooyufarm.com>